

安心して歯科治療を受けるための 鎮静法と全身麻酔法

東京都立心身障害者口腔保健センター

1

歯科治療でこんなことはありますか？

じっとできず、動いてしまう

治療が怖い
拒否が強い

過去の歯科治療での
トラウマが心配

治療の器具が口に入ると、
嘔吐(えず)いて苦しかった

2

安心して安全な歯科治療のため、
治療時に麻酔薬や鎮静剤を使う方法があります

3

通常の歯科治療が難しい方に対し、
当センターでは3つの方法を提案しています

笑気吸入鎮静法

静脈内鎮静法

日帰り全身麻酔法

4

笑気吸入鎮静法

鼻に小さなマスクを当て、麻酔薬(笑気)を吸うことでリラックスする方法

<特徴>

- ぼんやりするが、意識はある
- 鼻から麻酔薬を吸うだけ
- 身体への影響が少ない
- 鎮静(リラックス)状態からの回復が早い

5

笑気吸入鎮静法

<向いている方>

- 不安や恐怖心はあるが、強くない
- 鼻呼吸ができる
- ある程度、治療への理解と協力ができる

<向かない方>

- 不安や恐怖心がとても強い
- 鼻呼吸ができない
- 鼻マスクがつけられない
- 特定の病気(中耳炎、慢性閉塞性肺疾患など)がある方 など


6

静脈内鎮静法

点滴から静脈に鎮静薬が入ることで、リラックスする方法


<特徴>

- ぼんやりして、治療中の出来事を忘れる事もある
- 身体の震えや、治療の妨げになる反射が減る
- 治療の前に食事の制限がある
- 治療終了直後は、ふらつきが出ることもある



7

静脈内鎮静法



<向いている方>

- 不安や恐怖心が強い方
- 筋緊張や不随意運動が強い方
- 笑気吸入鎮静法が効かなかった方

<向かない方>

- 点滴の針が極度に苦手な方
- 低年齢(小学生以下)
- 食事制限が守れない方
- 極度の肥満がある方

など

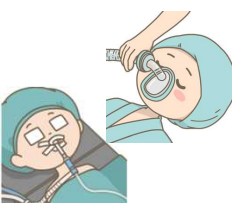
8

日帰り全身麻酔法

マスクから吸入麻酔薬を吸う、又は点滴から静脈麻酔薬を入れることで、完全に意識がなくなる方法


<特徴>

- 治療中の出来事は覚えていない
- 麻酔中は身体が動かなくなる
- 治療の前に食事の制限がある
- 全身麻酔中は、鼻から喉にチューブを入れて人工呼吸を行う



9

日帰り全身麻酔法



<向いている方>

- 不安や恐怖心が強い方
- 筋緊張や不随意運動が強い方
- 多数の歯に治療が必要な方
- 他の方法で、治療ができなかった方
- 現在、大きな持病のない方

<向かない方>

- 極度の肥満がある方
- 心臓や呼吸器に重い持病がある方
- 高齢者(75歳以上)
- 低年齢の方(3歳未満)
- 食事制限が守れない方

など

10


比較表	笑気吸入法	静脈内鎮静法	日帰り全身麻酔法
		治療前	
食事・飲水	大きな制限なし	食事: 4時間前まで 飲水: 2時間前まで	食事: 前日まで 飲水: 2時間前まで
		治療・麻酔中	
意識	あり	あり (ただし、忘れる場合あり)	なし
点滴	なし	あり	あり
呼吸に関わる器具	鼻マスク	鼻先に細い酸素用チューブ (必要時)	鼻から喉にチューブ <挿管>
		治療後	
治療後の帰宅の目安	しばらく安静の後 (約10分程度)	来院時と同じくらい 体調回復後 (約30分程度)	来院時と同じくらい 体調回復後 (約1~2時間程度)

11

どの方法で治療を行うかは、

お口とお身体の状態
ご家族とご本人の希望

を基に、歯科医師と相談しながら決めます



12

最後に

- お身体などの状態により当センターで対応できない場合は、大学病院などにご紹介いたします
- ご本人とご家族の気持ちを大切に、診療を行います

ご案内用のリーフレットを
ご希望の方はお申し出ください

